

熊本県立大学と富士電機グループが荒廃した森の里山再生に取り組む

< 熊本県 >

市町村・集落の名称	和水町 津田・平野里づくり協議会「なごみの里」
協働の相手（企業や大学等）の名称	公立大学法人熊本県立大学（熊本市） 富士電機グループ（東京都） 南関町に工場進出
仲介者・コーディネーターの名称	
協働のポイント	本町旧三加和地区には、集落の集まりによる8つの住民総参加の里づくりグループがあったため、代表者や役員はすぐ理解してもらったが、住民に対して、活動の趣旨目的を理解してもらうのに苦労した。
協働のきっかけ・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの森構想（旧三加和町）で取得した森が財政的な状況の変化等から未整備で荒廃していた。 ・隣町に進出した企業が、社会貢献（環境保全）の場を探していた。 ・包括協定を結んだ県立大学も社会貢献や研究・活動の場として活用できる。 ・里づくりグループも活動を模索していた。
取組の具体的な内容	荒廃した森（町有地）の里山再生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈り、風倒竹木伐採、里道づくり ・ 牛の放牧による農地の再生 ・ 果樹、イモ類、花類の植樹 ・ 野口健の環境学校開催（特別講演の実施） ・ 文化財の保全 ・ 大学の研究（竹の持つ二酸化炭素浄化等）
農村地域への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都会人（企業）、若者（学生）、知識人（企業幹部・大学教授）との交流による活性化 ・ 地域内住民同士の交流による活性化
都市部の主体（企業や大学等）への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学：学術調査研究、環境体験学習、地域社会貢献 ・ 企業：環境保全による社会貢献、社員の余暇活動
仲介者等の役割	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者自らが和み、楽しみ、学びながら活動することによる事業の継続 ・ 間伐木や竹の利用（炭焼き等） ・ 農産物（特産品）の開発、販売 地元が潤う仕掛け
関連事業（国・都道府県等）	

(活動状況写真等)

